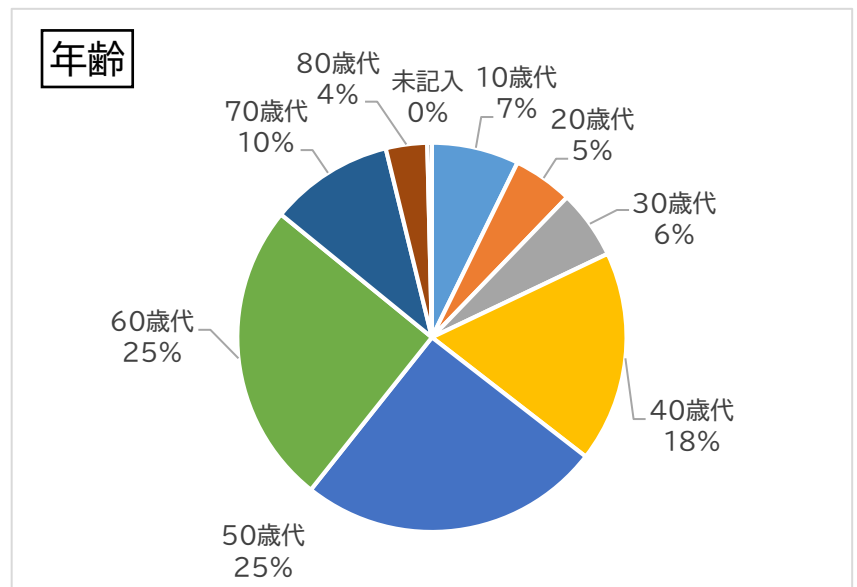


映画「ピア～まちをつなぐもの～」オンライン上映

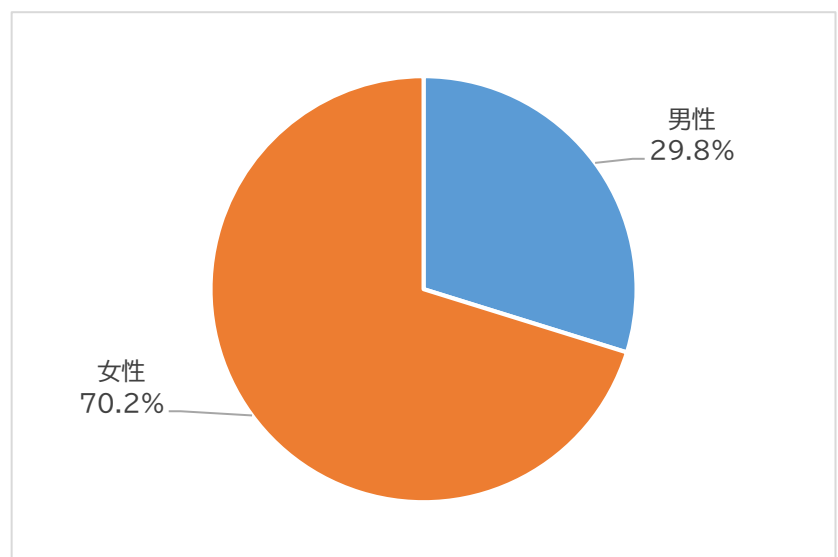
(視聴期間:令和3年12月24日(金)～12月30日(木))アンケート集計結果

Q1 お申し込みされた方の年齢を教えてください。

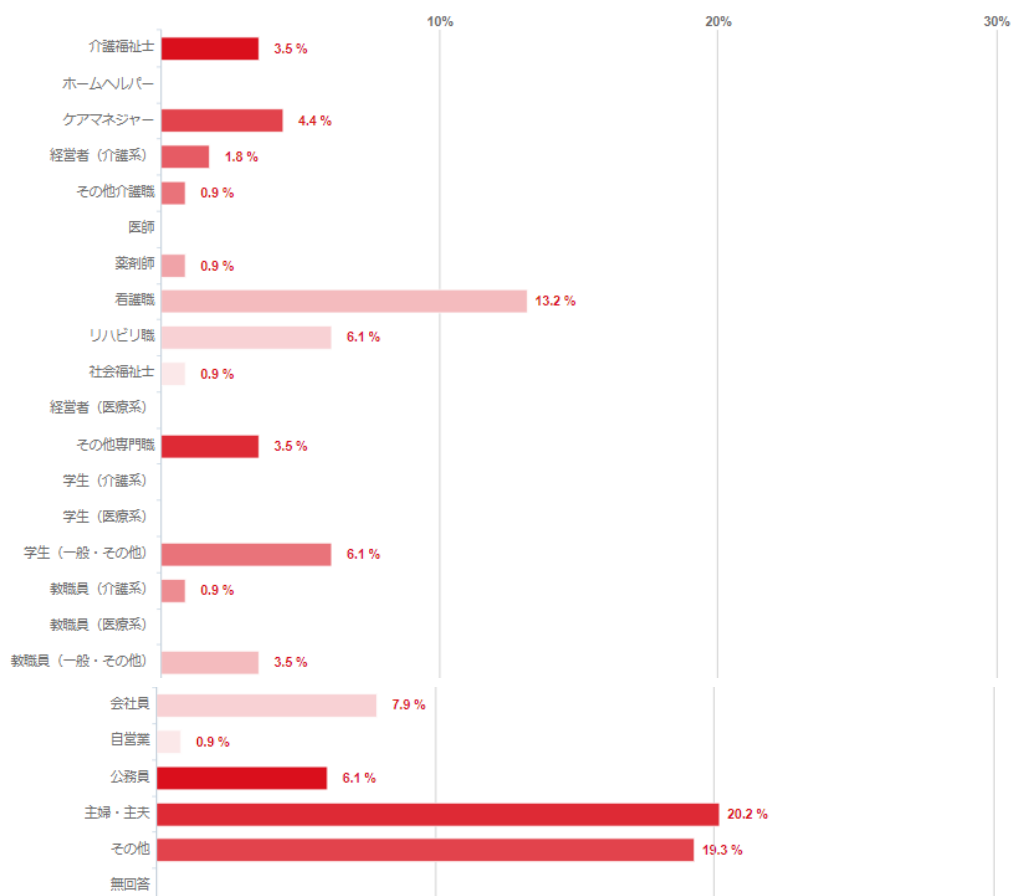
年齢	人数(人)
10 歳代	19
20 歳代	13
30 歳代	15
40 歳代	46
50 歳代	66
60 歳代	66
70 歳代	27
80 歳代	9
未記入	1
計	262



Q2 性別を教えてください。



Q3 職業を教えてください。



Q4 映画の感想をぜひ教えてください。

（一般の方の感想）

連携してできているとわかりました。僕は、大変なこともあると思うけど介護福祉士になりたいと思いました。ありがとうございました。

医師、ケアマネージャー、介護に携わる各々の皆さんの連携サポートが素晴らしいと思いました。このようなサポートを一人ひとりが平等に受けられる社会になることを願っています。息子が介護に興味を持っており、何か気付きが得られたのではないかと思います。この度は良い機会と自宅で安心して鑑賞させていただけましたことを感謝しています。どうもありがとうございました。

大安町にある在宅看護の「どんぐり診療所」の院長さんの講演を聞いたことがあるのですが、その時

のことを思い出しました。いろいろ示唆されることの多い映画で、たくさんの人に見てもらえればいいなあ。

妻が5年前に癌で他界、妻の願いが自宅での看取りを希望したので在宅医療を町で紹介してもらい手続きをしてきました。

何かあると自分のことばかり中心に考えてしまう。周りのみんなが支えてくれることを改めて考えました。

民生委員をやっています。自分らしく生きることについて非常に考えさせられました。

それぞれの立場で地域の中での連携の必要性や在宅医療の必要性、そして人と地域の繋がりや尊さを改めて考えさせられました。とても感動するいい作品でした。ありがとうございました。

このドラマの様にケアを受けて、人生を終われば最高です。

訪問医療で患者家族との出会いにより人として変わっていかれる医師に感動しました。多職種連携が素晴らしいです。現実もこうあってほしいと願います。

とても感動した。

介護される方の気持ちになることの大切さをしることが、できました。

在宅医療の大切さを感じました。

在宅医療の必要性和患者さんや家族へのサポートの関わり方で生きる力となる事を実感しました。

介護のことがよくわかりました。

八年間認知症の母二人を介護していた時のことが、おもいだされました。

最後まで、病気を治すのではなく、病気と一緒にいきることの手助けをする大切さを知ることができました。道は廊下で、病室は家！心に残りました。

10 年ほど前には、まだまだいなべの地域で映画のような日常は少なかったように思います。今は確実にあり、医療介護の専門職の皆さんの努力に感謝します。

こんな在宅医療が近くにあればと思った。

ピアの重要性を感じました。

介護にこんなにたくさんの人が関わってもうらっていることに、感動しました。人が最後までその人らしく生きる事の大切さをとてもあたたかく伝えてくれる映画でした。

在宅医療は家族や専門分野の協力と意見が必要です。

身近に乳ガンの友達がいて、重なってしまった。年齢的にも定期検診の重要性を感じています。

人っていいな、生きてるって素晴らしいことだなとつくづく思いました。

最後まで、精一杯生きる人生、素敵だなあと思いました

他人事ではないテーマ…

自分にも近い将来現実になろうであるテーマで、考えさせられる事が沢山ありました。最後を自宅ではよく聞きますが、実際その時になったら、患者本人の気持ちにより添える事は出来るのか？

とても感動しました。こんなにも多くの人が携わって居るとはおもいませんでした。前職は介護施設の事務をしていました。リハビリのお手伝いもしましたが、おじいちゃんおばあちゃんが笑顔になると私も嬉しい気持ちになりました。面会が難しいこの世の中ドア越しでも会えると涙するのを見たりして家族の存在が大きく感じました。この映画を見て改めて人の愛を感じました。素晴らしい作品です。子供達や介護に携わっている方、いない方皆に是非観ていただきたいと思いました。

今まで、あまり考えていなかった、終末について考えるきっかけになりました。昨年末に祖父が野良仕事中に事故で他界し、家族で泣きましたが、今思うと一つの終末の形であったのだと感じました。

私は将来介護福祉士になりたいと思っています。そのうえで大切にしなければいけないことを今回映画を見て知ることができました。将来患者さんの気持ちを第一に考えて寄り添うことができる介護福祉士になりたいなと思いました。ピアという言葉とてもいい言葉だなと思いました。

在宅医療についてわかりやすく説明しながら、在宅医療介護を感動的に描かれてよかったです。

在宅医療の仕組みについてとても勉強になりました。将来の参考になります。ありがとうございました！

とても考えさせられるお話でした。こんな人たちがばかりだといいですね。

在宅ケアの必要性が分かった気がします。もう少し身近で情報があるといいなあ~と思います。

身近な問題としていろいろと考えさせられた。

とても良かった。医療関係者には是非見て頂きたい。

映画を観て、亡くなった両親のことを思い出しました。両親とは離れて暮らしていたのですが、母が癌で入院し、父も認知症で、一人でどうしたらよいかわからなくなった時にヘルパーさん、グループホームの方、先生等、たくさんの方々に支えていただきました。感謝しかありません。ただ映画にもあったように今でも自分にもっと出来ることがあったんじゃないかと自問自答しています。きっと答えが見つからないまま、自分が最期を迎えるまで自問自答し続けるのだらうなと思います。

色々な職種の人々が、人が「生きる」ことを支えてくれていることを再認識しました。

父はこの映画と同じように、がんの治療が効かず、緩和ケア病棟に入りました。家に帰りたがったので、一時帰宅をしましたが、具合が悪くなり、病棟に戻りました。そしてそのまま病棟で亡くなりました。母は、痴呆症になり、先日、施設に入所させました。その人の過ごしたい場所で、その人らしく…理想はそうでしょうが、なかなか叶えてあげられないのが現状なのではないのでしょうか。それを変えていかなくては…確かに、その通りだと思いました。父にも母にもちゃんと向き合えたのか？考えさせられる映画でした。

自分がどのような治療を望むのか考えておくことや、周りに伝えておくことの大切さを感じました。この映画のようなサポートが広がって欲しいと思いますが、医療や介護に携わってくれている人たちに本当に感謝したいと思いました。

在宅医療という言葉は、聞いたことは、あったけれど、さまざまな職業が関わっていることを初めて知りました。

在宅医療については、かねてから関心が有りましたが、今 世間ではあまり取り上げられていません。昭和20年ごろには一般的でしたがー。デイサービスや施設などに丸投げの現在では疑問に思います。在宅医療体制の構築が必要だと思います。

医療と介護の連携が何のために必要なのか、再確認することができました。

訪問介護の大変さと介護を受ける人とのつながりが感動的でした。

自宅介護について知れて良かった

よかったです

在宅医療についてよく理解できました。

ひとりの在宅の患者に多くの方々が関わって支えていただいていることを知り、感動いたしました。

自分の思うことが成し遂げられるといいなと思いました。

最期をどのような環境で過ごすとしても、本人やその家族の思いに寄り添いながら、専門職チームが適切な支援を行う重要性を感じることができました。多くの専門職が同じ意識をもち支援に当たれるよう、学ぶ機会をもっと増やしてほしいです。

こんなサポートが受けられたら理想です

この様に、多くの人に支えられて、自分の家でさいごまで生きられることは本当に幸せだとも思います。

いのちの尊厳を感じた。

在宅医療が多くの人達に支えられていることがよくわかりました。自分達の街でも同じ様にあるのが心配です。

とても良かったです。

自分の親が今在宅でお世話になっていて、とても助かります。とても良いお話で、生徒たちにも見せたいです。お付き合いしてくださっているお医者さんなどが今後も増えて下さると嬉しいです。

医療と介護の連携の素晴らしさを学べた。

さまざまな立場の気持ち、さまざまな立場での支え方を知る機械になりました。

とても良かったです。多職種の関わり、思いなどが感じられました。ありがとうございます。

また、本人・家族・専門職のそれぞれの役割、専門職の連携についてもとてもわかりやすく説明している内容でもありました。多くの人に観ていただけるといいなと思いました。

在宅医療に携わるさまざまな職種の方々の協力で一人一人の命と生活を支えるチームワークの力に感銘を受けました。映画の視聴の機会を与えて頂き本当にありがとうございました。介護医療を目指す生徒にも紹介しましたので視聴して理解を深めているとありがたいです。

いなべ市には訪問診療所は、どんぐり、のみのようなので、増えてほしいが、人口に対しての望ましい在宅医療医師の配置体制の数値が知りたい。

在宅医療のつながりがよく分かる映画でした。

(医療・介護職の方の感想)

在宅医療のあり方についてかんがえさせられた

とてもよかったです。現場を知っている者として多くの方に知ってもらいたい映画だと思います。ピア、いい言葉ですね。

生と死の狭間で働いていると、ふと疲れてしまう時があります。今はまだ在宅に興味があるわけではありませんが、映画を見て勇気と元気をもらい、また頑張って患者さんのお世話しようと思いました。映画館になかなか足を運んで見る機会がなかったので、今回こんな形で作品を見られたことはとても良かったし、また観たいと思います。ありがとうございました。

多職種の役割が上手く表現されている映画でした。

自分ならどうするか、悩んでしまった。ひとりひとり置かれた環境が違うので在宅療養がいいとは言い

切れないが、ひとつの療養生活のあり方として在宅医療、在宅看護・介護がわかりやすく描かれていると思う。でも、映画と現実はやはり差があると思う。

最期までその人らしく生きるということの大切さを改めて思いました。在宅はチームで支えていくけれども、利用者やその家族から学び支えてもらうことの方が多く様にも思いました。 無回答

ピアというタイトルという通り、在宅生活を送る方を中心に、純粹にチームとして繋がる理想の映画でした。現実も職種の垣根が無いといいなと思いました。

在宅医療について、要の部分にふれてわかりやすくまとまった映画だと思いました。

お医者さんの反応が、そのものなのかなと感じました。

地域連携の大切さを考える良い機会になった。たくさんいるサポーターの仕事がわかりやすく説明されていた。

医療従事者、非従事者どちらが観てもわかりやすく、実際に起こりうる事例を紹介するような流れが印象に残った。

繋がり素晴らしさを実感しました。自身も癌治療を経験していて、今も常に再発や転移の不安があり、明日は我が身と思って鑑賞しました。

上映有り難うございました。最初から、納得することばかり、自分の経験してきたことばかりです。

ちょうど、この、12月で20年以上やってきた介護福祉士を辞めます。けして、介護職が嫌になったわけではありません。本来なら、もっと介護の現場で働きたかったです。来年からは、全く別の職種に就きますが、介護、障害福祉を、別の視点からみることにしました。介護、福祉は現場で働く人だけではなくて、市民、どんな方でも支えることはできます。介護職の人手は足りません。介護職ばかりに、頼るのではなくて、市民ひとりひとりが、支えるまちになればと思っております。いなべ市も、もっともっと社協さんも含め、住民を巻き込んで、まちづくりをしていきたいですね上映有り難うございます。再認識することばかりでした。

在宅医療を行うには改めて多職種の連携が必要だと感じた。

在宅医療の大切さを実感しました。いつか携わってみたいという想いもあります。素敵な映画をありがとうございました。

原点をもう一度確かめられました。分かりやすい内容でとても良かったです

在宅医療の大切さを、改めて感じる事ができました。暖かい気持ちになりました。

地域医療連携がこんな風にもっと進んだらいいなと思いました。

いろいろな形での看取りがある中で、近年在宅を望む方が増えています。本人の意思を家族がどこまで叶えられるかは、チームの連携が重要です。ケアマネジメントの重要性を再認識しました。

在宅医療を携わっています。共感する場面が沢山あり良かったです

自身の現場を回想しながら拝見しておりました。なぜ、在宅医療・介護の連携となると、現場でもそうですが”医療”側が連携や患者の生活・人生のことを理解していない、不十分である前提やお話の状況・設定が多いのでしょうか…？ピアとは仲間との意味があり、平等を意味する言葉でもあるのですよね。しかし、医療側(医師に限らない医療機関所属者)などが連携をできていないといった解釈が現場でもされるのでしょうか。世間一般的に社会的地位やヒエラルキーみたいな構図があるように思われがちですが、在宅医療・介護の分野では、ケアマネジャーや介護従事者の方たちが医療側のことを悪く言っている現状が現場でも多々見受けられます。それは横に置いておいて、”連携”が重要とだけ言

われ、医療側の批判をしている状況はいかがでしょうか。ケアマネジャーさんはケアマネジメントを展開されるかと思いますが、現場ではご自身たちの思いや考えをととても大切にされてマネジメントおよび支援を展開されるのは本当にすばらしいその一方で、医師には出せない・判断しきれない症状などの確定診断を迫り、投薬への不満を漏らし、コメディカルの考えに不満を言われているのを幾度となく経験しています。2000 年頃からも、医療やケア、介護、支援などは医学モデルのみならず医学モデルと社会モデルの統合概念にて捉えることが提唱されていることと思います。その概念をもとに、連携を考えるうえでどのようにすればよいのかを考えることと並行して、在り方についても考えていく必要があるのだと現場でもこの映画を通して改めて感じました。とても素晴らしい映画、ありがとうございました。

在宅ケアの意義と大切なことを知ることができました。

とても感動しました

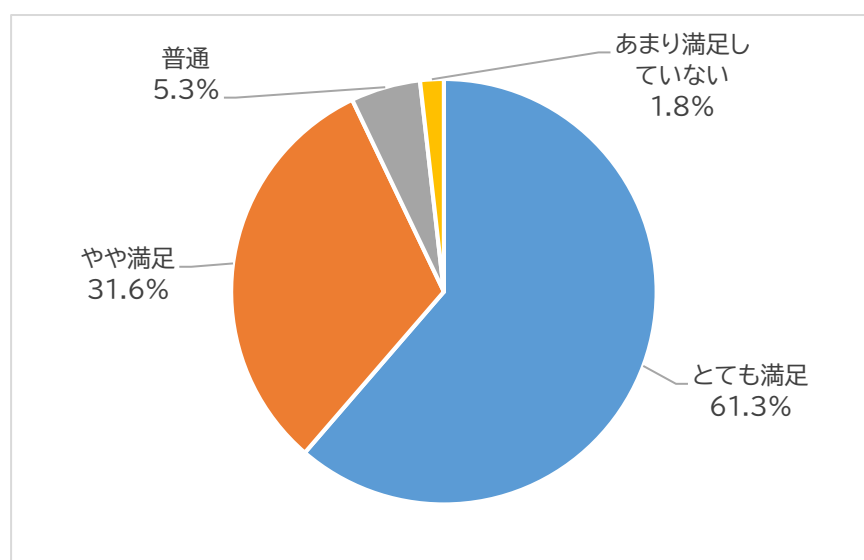
改めて在宅医療を考えさせられるいい機会となった。

とても良かったです。自分が患者になったら、こうして欲しいだろうと思うことをピアとして支えてあげられたらと意識している。しかし、これから在宅医療が増えて行くだろうが現状では採算が合わないとおもっている。

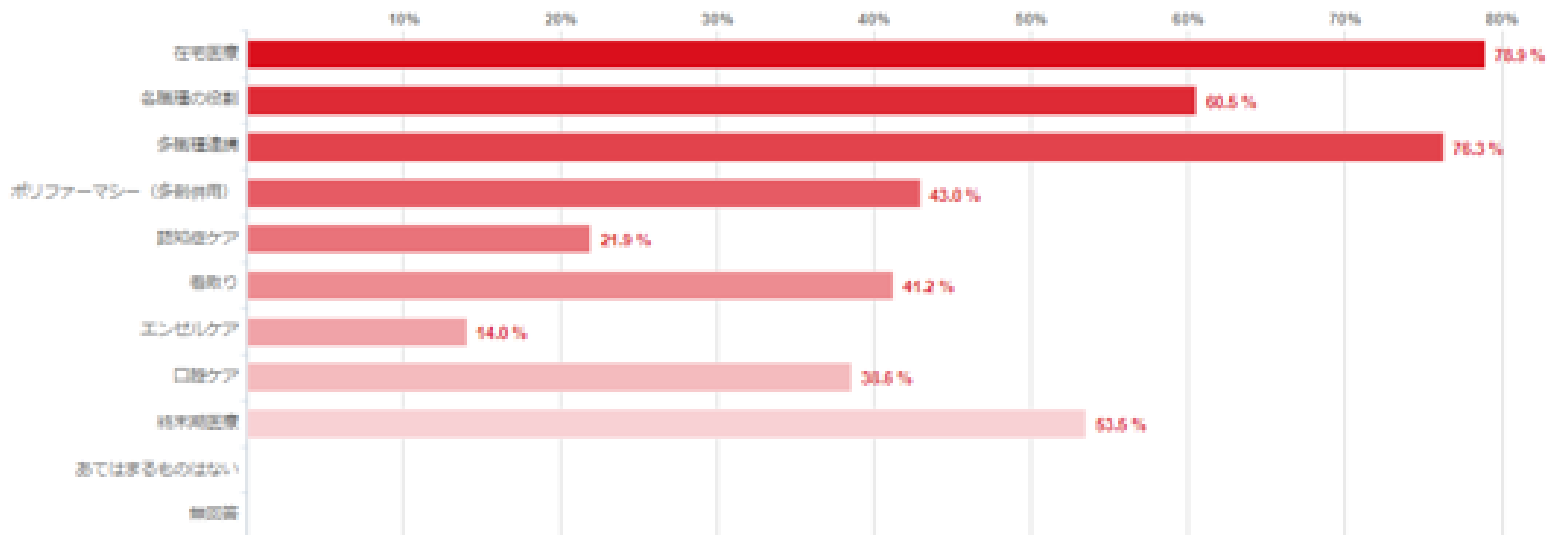
これからの地域医療、介護に必要なことを改めて思い出すことが出来ました。

価値観は違って、人の心に寄り添うことの大切さを教えてくれる映画ではあるが、自分の夢を諦めた若き医師の心情への関わりが少なく厚労省の在宅医療プロモーションビデオのようだったと思った。

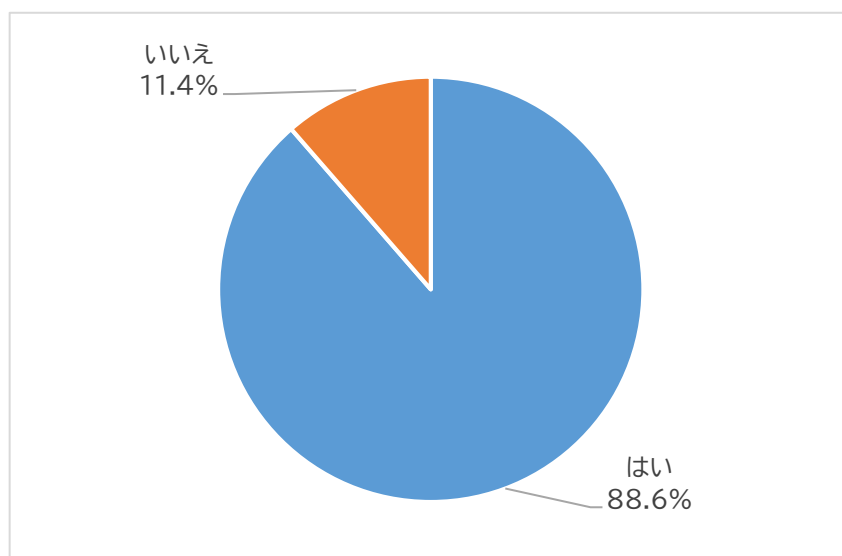
Q5 映画にどれくらい満足しましたか？



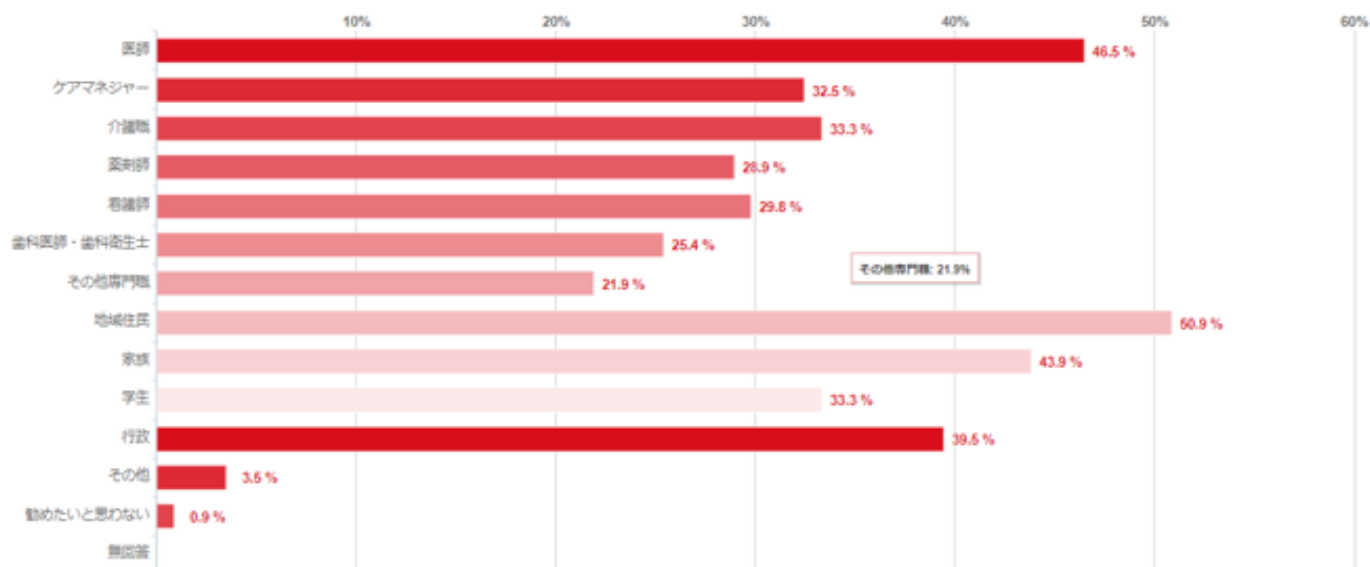
Q6 映画を見て勉強になったものがあれば教えてください。(複数選択可)



Q7 「ピア」のオンライン上映にまた参加したいですか？



Q8 「ピア」をどんな人に勧めたいですか？（複数選択可）



Q9 今回のオンライン上映を主催した方々にメッセージ（感想やお礼等）があれば、お願いいたします。

（一般の方）

僕は少し前に介護福祉士になりたいと思っていたけどもっとなりたいたいと思いました。とてもかんどうしました。本当にありがとうございました

ありがとうございました。

いい映画ありがとう。映画は見る人にたくさんの感動、メッセージを伝えてくれます。今後もこのような企画を期待します。

素晴らしいドキュメンタリーをありがとうございました。このような優しいイベントが人を作り地域を作っていくに大切な活動だと思います。一緒に活動してみたいです。

家で観れたのが良かったです

オンライン上映を初めて見ました。自宅で都合のよい時間に見れて良かったです。この様な事を主催された方々に感謝です。有難うございました。時間の無駄もなく在宅医療の現場をわかりやすく描いていただきありがとうございました。

感動的なためにになる映画をありがとうございました。

いい映画をありがとうございました。

作品制作ありがとうございました。ときどき、このような作品を観て、最後まで精一杯生きるんだと思って行きたいです。

コロナ禍において、オンラインで自分の好きな時間や都合の良いタイミングに、ゆっくりと観ることができました。コロナ禍であるからこそ感じ考えるところも大きいと感じました。ありがとうございました。

看取りや人に対する暖かさを有難うございました

感動しました

次回の上映も楽しみにしています。有難うございました。

医療に関して考えるきっかけをくださりありがとうございました。

感動作品でした。医療や介護に携わる方がどれだけ愛があるかで看取りの仕方も変わるのだと思います。現実はずっと大変なお仕事だとおもいます。このような作品をもっと多くの人に観てもらいたいです。ありがとうございました。

終末を考えるきっかけになりました。ありがとうございました

今回はこの映画を観る機会をくださってありがとうございました。私は介護について大切だなと思ったところをメモしながら観ていたのですが、とても見やすかったです。この映画を観なければ知らなかったことがたくさんあってとても勉強になりました。患者さんの気持ちがとても大切で、患者さんの暮らしやすい環境をつくるのが大切だということがわかりました。また機会があればこのような映画を観させていただいて勉強しようと思います。今回は本当にありがとうございました。

コロナかで、多人数を避けてます。オンライン上映は好きな時間に見られて便利です。感動的で勉強になる物語をありがとうございました。

実際的で現実的で、なおかつ爽やかになる映画を無料で見せていただき、どうもありがとうございました！

良い企画をして頂き、ありがとうございました。

在宅看護や高齢者等が、増えつつある中、映画のような完璧なサポートはなかなか難しいと思うが、このような映画をたくさんの方がご覧になって在宅医療に関心をもってください、地域ぐるみでご近所同士がお互い助け合えるようになれば、大きな前進だと思いました。ありがとうございました。

どうもありがとうございました。大変いい勉強になりました。そして心がほっこりしました。

コロナ禍でも自宅で良い映画を観れるよう尽力して下さり感謝です。期間も長くとってくださったのでゆっくり楽しむことができました。ありがとうございました(^人^)

今回、この映画をみて、自分の知らない職業の役割などが映画で知れたので、分かりやすかったです。字幕が入っていたので、聞き逃した部分も確認できたので、見やすかったです！ありがとうございました！

ピアと医師による在宅医療が行われている事を知りました。ありがとうございました。世間にもっとPRして下さい。

感動的でした。人との繋がり、接し方について自分も勉強になりました。

特定の日程ではなく何日間か上映されているのは助かります

オンラインのため都合のよい時間に 家で見ることができました。ありがとうございました

貴重な映画を見ることができてよかったです。私自身の経験の中でも、もっとできることがあったのではないかなと思う事は何度もありました。この様な映画を職場の仲間と共有したかったし、これからもより多くの人に見てもらいたいと思いました。

無料上映会の企画は初めて知りました。昨今映画館に行けないので、とても有り難いです。ありがとうございました

いい作品をありがとうございました。在宅医療がこれからもっともっと充実していくことをのぞみます。

見せていただいて良かったと思います、ありがとうございました。

訪問医療や連携して介護等に終末医療など支えてくださっている方々に深い感謝と敬意を表します。素晴らしい映画を上映してくださりありがとうございます。非常に勉強になりました。こういう制度が全国に広がればいいなあと思いました。

「最後まで生きる」「支えあうことが大切」ということについて、改めて考えさせられました。ありがとうございました。

とてもいい映画を見せて下さり、ありがとうございました。

コロナ禍でも、じっくり観賞できました。ありがとうございました。

とても良い映画を作ってください、ありがとうございました。

在宅医療とチーム医療について理解を深めることができました。チームワークで一人一人の命と生活を支える内容に感銘を受けました。上映会を主催していただきありがとうございました。

在宅介護関係の仕事に従事している仲間のザックバランなお気軽グループラインの開設を長寿介護課が主導して開設していただければ、閲覧だけでも参加したい!

普段、このような機会があっても日程の都合上、参加出来ないことが多く、断念しておりました。今回、上映期間も長く、また何時でも見れるという事を知り、それならと申し込みをさせていただきました。またこのような機会があれば申込みさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

(医療・介護職の方)

配信なので参加しやすかったです。ありがとうございました。ぜひまたこのような機会をつくって頂きたいです。

素敵な映画を選んでもらい、ありがとうございました。映画を見終わった後、自分の人生を自分らしく生きようと思いました。いい機会を作ってもらい、ありがとうございました。

ウェブ配信は家に居て見られるので、忙しくても合間を見て分割してみれるので、助かります。何処かへ出かけて見るとなると、無理な場合もあるので。

みんな仲間、みんな平等、最期までその人らしく生きる。優しい気持ちになりました。ありがとうございました。

上映会ありがとうございました。好きな時間に見られて大変参加しやすかったです。

コロナ禍で集まるのが難しい中、オンライン上映という手段をとっていただきありがとうございました。

いなべ 10 を使って、たくさんの人に見てもらえるとどうでしょうか

地域医療に関しわかりやすく楽しく見れました。勉強になりました。ありがとうございました。

この様な終末期を迎える方法がある事を皆んなに知ってもらえる良い機会を与えていただけたと思います。ありがとうございます。

ありがとうございました。とてもよかったです。

有り難うございます。

最初から、涙で画面が観られないことばかりでした。

介護福祉士ですが、ちょうど 20 年やってきた介護の仕事を今月辞めます。

介護の仕事が、嫌で辞めるのではなくて、別の視点から福祉を変えたくなったので。

介護の現場にはまだまだ、未練があります。介護の仕事が低くみられがちですが、この映画をみてやっぱり仕事に誇りをもつことができました。

有り難うございます。

ちなみに、自分の屋号は、peer-J なんて、なんか親近感がわきました。

視聴させていただく機会をくださり、ありがとうございました。

患者さんとの向き合い方、在宅医療の実状、いろいろと考える機会となりました。

素敵な映画をありがとうございました。

自宅でゆっくりとどんな時間でも観れるのは良かったです。ありがとうございます

とても感動できる映画でした。医療者として勉強になりました。

いつもお世話になっております。

貴重な機会、ありがとうございました。

また、この映画の感想や学んだことを共有させていただく場があるとより一層深まりそうですね。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。たくさん学ぶことができました。

このような機会を設けていただきありがとうございました。

とても感動しました。

ありがとうございました。